

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 49' 49"		
				経度	135° 45' 06"		
野上橋 (フリガナ)ノガミハシ		市道時小林2号線	京田辺市大住小林				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
京田辺市	2018.2.14	河川	有	一般道	その他	なし	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者		(一財)京都技術サポートセンター		点検責任者		春田 健作	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	III	剥離・鉄筋露出	①			
	横桁						
	床版						
下部構造		II	断面欠損	②			
支承部		II	ゴム材劣化	③			
その他		II	地覆欠損	④			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等) RC床版橋であり、床版全面に剥離・鉄筋露出が進行している。 左岸側橋台の荷重支持部の断面欠損が著しく、補修の必要がある。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)




架設年次	橋長	幅員
1978年	9m	2.60m
		
← 終点		起点 →

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>写真① 剥離・ 鉄筋露出</p> 	<p style="text-align: center;">下部構造(橋台)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真② 断面欠損</p> 
<p style="text-align: center;">支承部【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真③ ゴム材劣化</p> 	<p style="text-align: center;">その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真④ 地覆欠損</p> 